

明塾新聞 七月号

まぐらだより



講師挨拶 香月先生



あと一カ月ほどで夏休みです。

そこで物語や小説ではありませんが、夏休みの読書にオススメの本を紹介します。

最初は①『ミライの授業』（講談社）。選んだ理由は「何のために勉強をしているのか」という疑問に一つの答えを出しているからです。

答えはこうです。皆さんは「魔法」を学ぶために勉強しているのだ、と。突然「魔法」と言われてもよくわからないと思います。現代の「魔法」とは、例えば飛行機です。考えてみれば、重さ150トン以上の旅客機が空を飛ぶなんて不思議です。そんな不思議なことが出来るのは、科学や技術と

いう「魔法」のおかげ。そして科学や技術は、皆さんの学校の勉強の果てに生まれるものなのです。ですから、皆さんは将来「魔法」でだれかを助けるために勉強するのだ、といえます。

最先端の「魔法」を紹介します。②『LIFE SPAN（ライフスパン）』（東洋経済新報社）を書いたハーバード大学の先生は、驚くことに人類は不老になるといいます。120歳まで生きるのが普通になり、健康なまま病気と無縁になり、不老長寿が実現するということです。

もちろん、たとえ偉い先生の話でも、すぐのみにしてはいけません。大切なのは、今この瞬間も世界中の学問や挑戦によって、不可能が可能に変えられることです。

②にも登場する日本人の先生の本が③『山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いて

みた』（講談社+α文庫）。山中先生は勉強や仕事が得意そうですが、③を読むと意外に挫折と苦勞の連続だったとわかります。皆さんも勉強での挫折や苦勞は多いかもしれません。そんなとき③を読むと、日本の天才ですら大変な思いをしてきたんだな、とホッとするはずですよ。

今回の3冊は難しいところを読み飛ばして、わかるところだけ読んでもよいと思います。町の図書館などに入っている本もありますので、ぜひ手に取って、皆さんの勉強の先にある現代の「魔法」を感じ取ってください。



塾生にきいてみました！ 失敗の思い出

私の最近の失敗は、一つ上の姉と、ランドセルをまちがえたまま学校にいつてしまったことです。わたしは、学校

についても、まったくきづかなかったの、さきにきづいた姉が、わたしのクラスまで持ってきてくれました。そのときには、すでにたくさんの友だちがきていたので、友だちに笑われてしまったのが私の最近の失敗です。

御牧小学校六年

小山みそらさん



私は、前に、図工の時間で、ものを作りました。そして、私は、馬を作ろうとして、作りました。だけど、形を作っていて、馬の目をつけようと思っただけで、目がつけませんでした。だけどもちがえて目を、ちがう所につけてしまいました。さいしゅうてきに、そのままにしておきました。

御牧小学校四年

内田彩葉さん

私の凡ミスエピソードは、二年生のころ国語のテストで、名前をかきわすれて、0点になったことがあります。なので、皆さんには、テストで名前のかきわすれに気を付けてほしいと思いました。

御牧小学校六年

内田琴葉さん

募集！

私の願い事

日常のささいなことから世界の平和まで、どんな事でもかまいませんので皆さんの願い事をぜひ教えて下さい。

【応募方法】文章、写真、イラスト等、すべて用紙は自由です。お名前を記入して、担当の先生にお渡し下さい。次号で紹介させていただきます。

【締め切り】七月十五日（木）

【特典】先着十名様に図書カード五百円分を進呈させていただきます。

※募集テーマ以外の作品も随時受け付けています！